

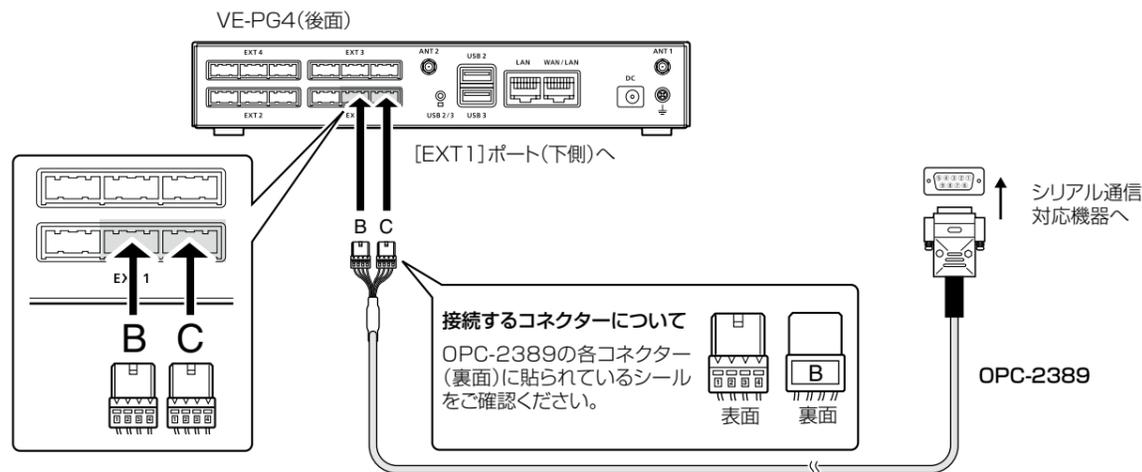
このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品(OPC-2389)は、シリアル通信対応機器とVE-PG3/VE-PG4を接続するための専用ケーブルです。

ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、本製品を正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

## 接続ケーブルの取り付け

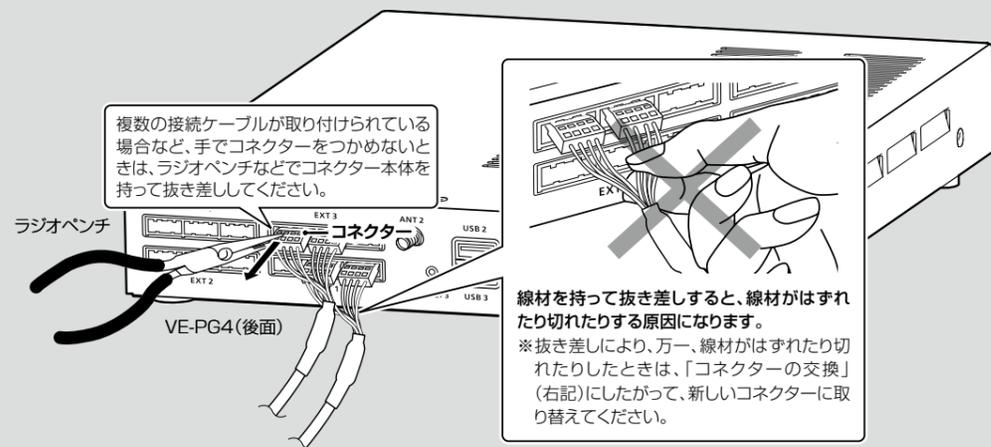
1 接続する各機器の電源が切れていることを確認してから、図のようにOPC-2389を取り付けてください。



※本書では、VE-PG4の[EXT1]ポートにシリアル通信対応機器を接続する場合を例に説明しています。

### 取り扱い上のご注意

- ◎接続ケーブルを抜き差しする前に、接続する各機器の電源が切れていることを確認してください。
- ◎必ずコネクタ本体を持って抜き差ししてください。



- ◎接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。
  - ◎接続ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
  - ◎ぬれた手で接続ケーブルに触れないでください。
  - ◎説明と異なる接続をしないでください。
- 接続を間違えると、故障の原因になることがありますので、十分注意してください。
- ◎接続ケーブルを引き回すとき、コネクタ本体に無理な力を加えないように十分注意してください。
  - ◎指定以外の機器に接続しないでください。また、すべてのシリアル通信対応機器での動作を保証するものではありません。

## コネクタの交換

抜き差しにより、万一、線材がはずれたり切れたりしたときは、新しいコネクタに取り替えて、下図で指定する配色で接続してください。

※コネクタは、VE-PG3、またはVE-PG4に付属している補修用のコネクタ\*をご使用ください。

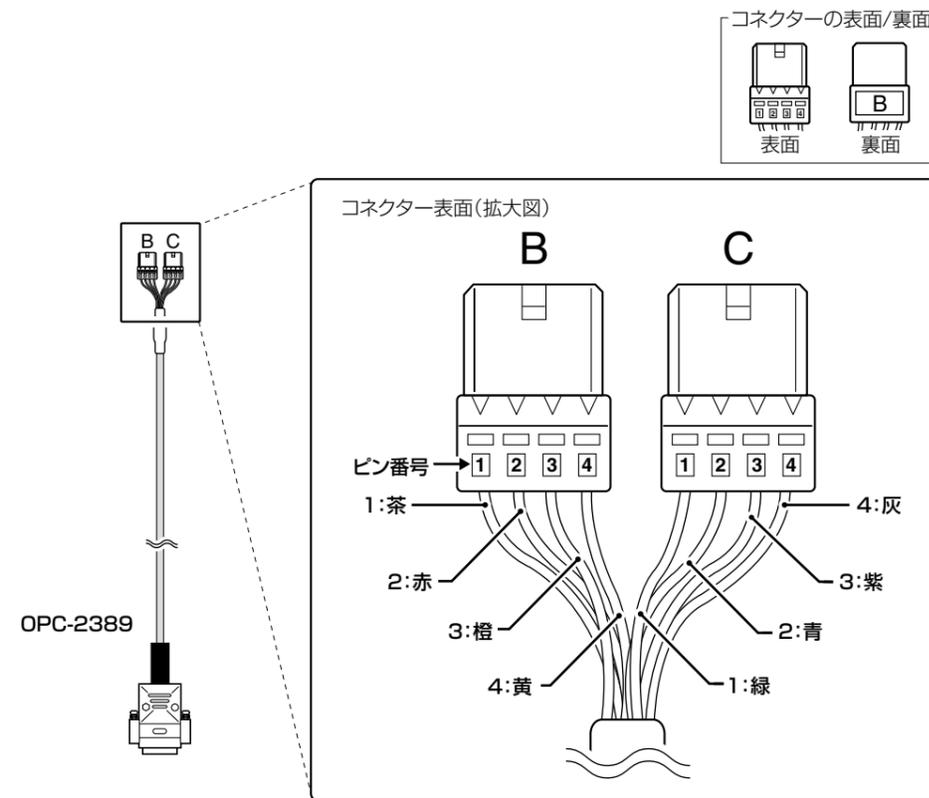
※再接続が約30回繰り返される場合は、コネクタを交換してください。

★1 DDK社製 232D-04S1B-DA5-FA

すべての線材を差し込む前に、コネクタを圧接しないでください。

- 1 ニッパーなどでコネクタの根元を切断\*2\*3します。  
★2 接続ケーブルを接続している機器から取りはずしてから、線材を切断してください。  
★3 線材の長さが短すぎると、抜き差しが困難になり、取り付けできなくなりますのでご注意ください。
- 2 接続するピン番号(下図参照)の穴に線材を差し込みます。
- 3 ラジオペンチなどで圧接します。  
※一度圧接したコネクタは、再利用できません。

### OPC-2389の線材とピン番号について



アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

202301